

(様式1)

日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業  
研究開発提案書

研究開発課題名 (英語表記)	日本語表記	〇〇に関する研究開発	e-Rad の記載と一致させてください
	英語表記	Study of 〇〇	
公募名(事業名)	公募要領第2章2.1の公募研究開発課題一覧から選択してください。 例)がんの標準治療に資する臨床試験の研究実施計画書作成及び実施 サブ項目: 4-1-3(革新的がん医療実用化研究事業)		
	□公募要領第2章2.3を参照し、上記サブ項目番号に対応する公募の内容を十分確認した。 ※確認したら☑		
研究開発期間(本提案における全研究期間)	令和XX年X月X日 ~ 令和XX年X月XX日(X年間)		
研究費総額(直接経費)	全研究期間での総額( X0,000 千円) ※「7.各年度別経費内訳」の全研究期間の		
ヒト全ゲノムシーケンス解析及び ヒト全エクソーム解析	□実施する □実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシ		
研究 開 発 代 表 者	氏名	フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇
		漢字	〇〇 〇〇
		ローマ字表記	Yyyy Yyyyyy
	性別	男☐ 女☐ その他☐ 回答したくない☐	
	生年月(年齢)	19XX年XX月(XX歳:令和8年4月1日時点)	
	所属機関(正式名称)	〇〇法人〇〇大学	
	所属部署(部局)	〇〇学部〇〇学科	
	役職	〇〇	
	通知書等送付先住所	〒〇〇 〇〇	
電話番号	〇〇		
E-Mail	〇〇		
研究開発代表者の情報	<a href="https://www.……">https://www.……</a>		
研究開発代表者の研究歴 (主な職歴と研究内容)			

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

## 要約(和文)

■概要など、e-Rad と提案書で重複がある項目は、提案時に e-Rad に記入されている必要はありません。

■A4 縦 1 ページ以内

■背景(今の状況がどのように、何が求められているのか)、  
目的(背景を受け、本課題を実施する目的)、  
方法の概略(どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか)、  
概要を記載してください。

## 1. 研究の背景・目的

### (1)背景

- ・国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入してください。
- ・研究開発代表者のこれまでの研究成果を踏まえ、本研究開発の着想に至った経緯について記載してください。本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請と本研究計画の関係を明確にしてください。

### (2)研究の目的(1,000 文字以内)

- ・1000 文字以内で、研究開発の目標(研究開発期間終了時に達成しようとする研究開発成果の目標)、研究開発のねらい(上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義)、研究開発の準備状況(これまでに進めている部分の概略)を具体的に記載してください。

## 2. 研究計画・方法

### (1) 研究開発の概要(1,000 文字以内)

- ・研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法について、1000 文字以内で記載してください。
- ・臨床研究においては、具体的内容(基本デザイン、エンドポイント、統計学的考察、登録数設定根拠など)を記載してください。シエーマがある場合は掲載してください。

### (2) 研究開発の内容

- ・研究目的を達成するための研究開発の具体的手法、研究開発期間中の到達点とその達成度の判断基準などを、主要な研究開発項目毎・年度毎に分けて、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。
- ・複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。

#### 研究開発項目①: ○○○○○

- ・研究開発項目及び研究担当者(研究開発代表者、研究開発分担者)は、「6. 研究開発の主なスケジュール」の記載と一致させてください。
- ・研究開発代表者、研究開発分担者、研究協力者等の具体的な役割を明確に記載してください。
- ・各研究開発項目について、本公募事業で支援予定の研究開発期間を超える計画については、令和〇年度以降としてまとめて簡潔かつ明確に記載してください。
- ・研究開発項目③以降がある場合は、適宜、項目を追加して記入してください。

#### ● 研究担当者(所属機関・部署・役職・氏名)

- 1) ○○大学 ○○学部 教授 ◇◇ △○
- 2) ~複数名の場合は続けて記入してください。

#### ● 研究開発の目的及び内容

研究開発の目的及び内容を 200 字程度で簡潔にまとめてください。

#### ● マイルストーン及び研究開発方法

上記の「●研究開発の目的及び内容」を達成するために当該研究担当者が実施するマイルストーン(達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項)、及び達成のための方法を年度毎に記入してください。

「6. 研究開発の主なスケジュール」と整合性をとった記載にしてください。

令和8年度:

令和9年度:

令和10年度:

令和11年度以降:











#### 4. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名	所属機関※1	現在の専門	令和8年度 研究経費※2 (千円)	エフ オー ト (%)
	生年月(年齢:令和8年 4月1日時点)	所属部署(部局)※1	学位(最終学歴) 学位取得年		
	e-Rad 研究者番号※3	役職※1	役割分担		
研究開発代表者	〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学	△△△	X,XXX	XX
	S49/11(XX)	△△△学部△△△学科	△△博士(〇〇大学) H14年		
		△△△	研究の統括		
		(主たる研究場所)※1 △□大学 △△△学部△△△学科 □□□		X,XXX	XX
研究開発分担者	□□ 〇〇	△□大学	□□□	X,XXX	XX
	S50/11(XX)	△△△学部△△△学科	〇〇博士(□△大学) H15年		
		□□□	データの解析		
		(主たる研究場所)※1 △□大学 △△△学部△△△学科 □□□		X,XXX	XX
研究開発分担者					
計 2名			研究開発経費合計	X,XXX	

※1 所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署(部局)及び役職も記載してください。

※2 研究経費については、直接経費を記載してください。

※3 e-Rad 研究者番号を取得している場合のみ記載してください。

**【研究開発代表者】**上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

※主たる勤務場所が本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨を備考に記載してください。

機関名	所属部署(部局)	役職	備考



## 6. 研究開発の主なスケジュール

- 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。  
※マイルストーン: 達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項
- 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。  
※1頁以内で記載してください。  
※研究開発項目は、「2. 研究計画・方法(2)研究開発の内容」に記載した研究開発項目と一致させてください。
- 別途 Excel で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF 化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF 化後に必ずご確認ください。

### <担当者>

- ① 研究開発代表者: 氏 名(〇〇〇大学)
- ② 研究開発分担者: 氏 名(〇〇〇機構)
- ③ 研究開発分担者: 氏 名((株)〇〇〇)

.....

研究開発項目 <担当者>	第 1 年度(R8年度)				第 2 年度(R9年度)				第 3 年度(R10 年度)			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) 〇〇関連遺伝子 発現解析  ・〇〇遺伝子の同定 ・〇〇遺伝子発現解析 <①②④>			←————— ▲ マイルストーン: 〇〇〇〇〇〇〇〇 ←————— ←—————									
(2)												
(3)												
(4)												



## (2)研究機関別経費

(間接経費を含めた金額を記入してください。)

- ・研究機関ごとの各年度の合計額を記入してください。
- ・分担研究機関が4機関以上ある場合は、行を追加してください。

(単位:千円)

種別	機関名	R8年度	R9年度	R10年度	計
代表研究機関					
分担研究機関1					
分担研究機関2					
分担研究機関3					
研究開発費合計額					

## (3)直接経費の具体的な内訳や使用目的

「(1)委託研究開発費」の各項目の主な経費について、支出計画を具体的にお示しください。

特に(2.旅費)、(4.その他)については、「2 研究計画・方法」との関係や必要性がわかるように記載してください。

(例)・研究開発項目①の〇〇研究における△△に用いる□□の購入:●●千円

・研究開発項目②のCROへの外注(モニタリング及び監査費用):●●千円

・R7年度〇〇学会における成果発表及び情報収集のための旅費(研究開発代表者他□名、出張先国名都市名(米国サウスダコタ)):●●千円

(1. 物品費)

(2. 旅費)

(3. 人件費・謝金)

(4. その他)

## 8. 研究業績

- 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの(概ね一人につき 1~15 編程度)を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付し、当該研究における研究開発代表者の役割を数行程度で記載してください。(研究開発分担者の欄に記載された論文・著書であっても、研究開発代表者が共著者であり、「●」が付されたものについては、当該研究における研究開発代表者の役割を数行程度で記載してください。)てください。
- 研究業績の記載にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例えば、学術論文の場合は、著者名、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年(西暦)を記載してください。著書の場合は、著者名、著書名、その書誌情報などを記載してください。著者名のうち、「研究開発代表者」には二重下線を、「研究開発分担者」には一重下線を付け、明示してください。なお、学術論文の記載は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限りです。
- 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)を記載してください。この提案課題に直接関連するものについては「●」を付してください。

### (1)研究開発代表者 ○○ ○○

#### <論文・著書>

- M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020, 1,10-20
- M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

#### <特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

#### <政策提言>

○○○○○○ガイドライン(○○学会編 XXXX 年)

### (2)研究開発分担者 ○○ ○○

#### <論文・著書>

- M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 2020,12,32-40
- M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria……, Nature, 2019,10,45-54

(Researchmap のテキスト出力を貼り付けた例)

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020 年 3 月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020 年 2 月

Atomic spin resonance in a rubidium beam oblique

## 9. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

- 本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)、(3)その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。
- 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記載してください。
- 「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

### 【研究開発代表者】

#### (1) 応募中の研究費(令和 年 月 日時点)

##### (1-1) 応募中の研究費 AMED 研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接 経費) [期間全体の額] (千円)	エ フ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 開発課題に応募する理由
	申請者本人への配分予定額(直接経費)				研究開発課題全体(直接経費)の総額 例)(6,000+1,000(分担者))×3年
【本研究開発課題】 (R8~R10)	〇〇と△△の相関に関する 実験的研究 (〇〇〇〇)	代表	6,000 [18,000]	20	(総額 21,000 千円)*
	研究開発期間全体で申請者本人が使用する 総額(直接経費)(予定額)				

\* ( )内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

##### (1-2) 応募中の研究費 AMED 以外の研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接 経費) [期間全体の額] (千円)	エ フ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・基 盤研究 B(R8~R10・ 日本学術振興会)	〇〇と△△に関 する研究 (〇〇〇〇)	代表	10,000 [30,000]	20	本研究とは▲▲の視 点から調査する意味 で異なり、本応募研究 により統合的に理解 が進むため。 (総額 36,000 千円)*

上欄と同様に研究開発代表者の場合、  
総額を記載

科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R8～R9・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円)*
令和8年度〇〇財団研究助成金(R8・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

\* ( )内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## (2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和 年 月 日時点)

### (2-1)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費) AMED 研究費

(注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由

### (2-2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費) AMED 以外の研究費

(注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和6年度〇〇財団研究助成金(R6～R9・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)*

--	--	--	--	--	--

\* ( )内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**(3)その他の活動**

エフォート: 50 %

(1)(2)以外の「その他の活動」のイメージ(考え方の整理)

教育	エフォート: 20 %
診療	エフォート: 10 %
社会サービス	エフォート: 5 %
その他(学内事務等)	エフォート: 15 %

【研究開発分担者】(必要に応じてコピーして追加してください)

(1) 応募中の研究費(令和 年 月 日時点)

(1-1) 応募中の研究費 **AMED 研究費**

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R8~R10)	〇〇と△△の相関に関する実験的研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [3,000]	20	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由  研究開発課題全体(直接経費)の総額例)(6,000(代表)+1,000(分担者))×3年  (総額 21,000 千円)*
					本人への配分予定額(直接経費)  研究開発期間全体で本人が使用する総額(直接経費)(予定額)

\* ( ) 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(1-2) 応募中の研究費 **AMED 以外の研究費**

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・基盤研究 B(R8~R10・日本学術振興会)	〇〇と△△に関する研究 (〇〇〇〇)	代表	10,000 [30,000]	20	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 36,000 千円)*
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R8~R10・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円)*

令和8年度〇〇財団研究助成金(R8・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。
-------------------------	----------------	----	------------------	---	---------------------------------------------

\* ( )内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和 年 月 日時点)

(2-1)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費) **AMED 研究費**

(注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由

(2-2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費) **AMED 以外の研究費**

(注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和7年度〇〇財団研究助成金(R7・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)*

--	--	--	--	--	--

\* ( )内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**(3)その他の活動**

エフォート: 50 %

(1)(2)以外の「その他の活動」のイメージ(考え方の整理)

教育	エフォート: 20 %
診療	エフォート: 10 %
社会サービス	エフォート: 5 %
その他(学内事務等)	エフォート: 15 %

## 10. これまでに受けた研究費とその成果等

- 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費(所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。)による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、(1)【AMED 事業】と(2)【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。
- AMED 事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。
- それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間(年度)、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費(直接経費)を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価(当該研究費の代表者のみ。)結果も簡潔に記載してください。

### (記載項目)

資金制度名:

期間(年度): R 年度～R 年度

課題名:

代表者又は分担者の別:

研究経費(直接経費): 千円

研究成果及び中間・事後評価結果:

### (1)【研究開発代表者】AMED 事業

・AMED ○○事業(A)、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円  
××××の成果を得た。

・AMED ○○事業(B)、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円  
××××の成果を得た。

### 【研究開発分担者】AMED 事業

### (2)【研究開発代表者】それ以外の研究費

・基盤研究(B)、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円  
××××の成果を得た。

【研究開発分担者】それ以外の研究費

## 11. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

### (1) 医学研究・臨床試験における患者・市民参画(PPI: Patient and Public Involvement)PPIについて

本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。(※詳しくは公募要領 3.4.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画(PPI)の推進」をご参照ください)

※記載に係るポイントは、AMED 公式ウェブサイトをご参照ください

AMED 研究への患者・市民参画:<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

### (2) 「2. 研究計画・方法」で記載している項目以外で、研究成果の目安となる数値指標等

記載例: 薬効を示す候補化合物合成の収率は〇%を目指す。

### (3) データベースへの登録・データシェアリングについて

本研究で得られたデータについては、〇〇データベースに登録予定。

### (4) 国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

### (5) キーワード(疾患名以外、10 単語以内)

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例: 研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位(臓器、組織、細胞等)、対象集団(妊産婦、AYA 世代など)、実験動物等、の具体名)

記載例: 1. △△計測 2. ○○合成阻害剤 3. ……

### (6) 対象疾患(10 個以内)

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を 10 個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

記載例: 1. △△感染症 2. ○○病 3. □□症候群 ……

### (7) 性差を考慮した研究開発の推進について

AMED が支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、こ

れを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性(SEX)」と「社会的・文化的性(GENDER)」の両視点を持つことが重要であり、AMED では事業共通的な取組を段階的に進めていきます。令和 8 年度においては、「生物学的性(SEX)」に着目しますので、本項目では、「生物学的性(SEX)」に基づき記載をお願いします。

( <https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html> )

以下の①②のうち、いずれか1つを選択してください。残りは削除してください。

- ①性差を考慮する必要があると判断した
- ②性差を考慮する必要が無いと判断した

以下に選択の理由を記載してください。

(理由)

○○○

(以下は記載例です。なお、理由の文章は1つでも構いません)

#### 記載例)

##### ①性差を考慮する必要があると判断した:

- ・マウスを用いた実験では、雄雌差を考慮し、両性を用いた解析を行う。
- ・臨床研究では、リクルート時は被検者の性別の区別は設けないが、データ解析時は性別によるサブグループ解析、層別解析も行う予定である。結果を外部公表する場合は、可能な範囲で公表する。

##### ②性差を考慮する必要が無いと判断した:

- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されておらず、現時点で性差の影響に関する知見が得られていないため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されており、性差による影響が認められていないことが確認されているため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・研究試料が非常に限定されている難治性疾患であるため、性差の考慮ができなかった。
- ・技術支援基盤構築を行う課題であるため、考慮は不要と判断した。
- ・知財戦略策定を支援する課題であるため、考慮は不要と判断した。